

## 企画商品・取り組み事例紹介

福井新聞社は、地元での情報到達力、オン／オフラインで波及する広域なネットワーク、グループ各社のリソースを駆使し、当事者として地域に踏み込む事業展開を行うメディア企業です。

福井新聞社は120年以上にわたる社業を背景にした県民からの信頼、地元企業や地域でまちづくりなどを担うキーマンとの太いネットワークを強みとしています。弊社が発行する福井新聞は、福井県内で圧倒的なシェア（※172,002部、世帯普及率約58%）を誇ります。そのほか月刊誌、webメディア等も保有。事業フェーズにあわせてメディアを選択あるいはミックスさせ、効果を最大限に高めた広報展開が可能です。また、グループ企業である福井新聞PRセンター、fuプロダクションと連携することで 様々なソリューションを提供することが可能です。

ニュース報道だけではなく、自らも当事者として地域に踏み込み、県民を巻き込んだ住民参加（一体）型のプロジェクト運営や地域リソース×外部（プロ人材）の知見を組み合わせた新規事業開発のコーディネートなど、福井新聞社がハブとなり、メディアブランドとコネクションを生かした様々な事業を実施しています。※2021年7～12月日本ABC協会調べ

啓発企画・キャンペーン・大型イベント

各種ツール制作・SP／PR支援

デジタルコミュニケーション

県外（広域）プロモーション



福井の持続可能性と幸福度に資する多彩な事業

## ◎テストマーケティングに最適

小さな市場で大きなシェアの福井新聞社がお手伝い

## ◎県内に人的リソースをかけられない部分をサポート

販促計画やブランディング、調査、自治体や企業との関係構築など  
福井のことを一番知っている新聞社だからこそ多角的なバックアップも可能

## ◎既存企画タイアップで効果的な広報

新聞本紙や、女性向け生活情報誌「fu」にて実施している既存企画とのタイアップも可能

- ✓本紙：SDGs、脱炭素、医療、住宅、車両、金融、土業、交通安全等啓蒙系 など
- ✓fu：飲食、スイーツ、レジャー、習い事、健康、生活情報企画 など
- ✓事業：スポーツ、文化、コンクール、教育 など



### 福井新聞発行部数・普及率

福井新聞は、1899（明治32）年に創刊いたしました。  
福井県内の発行部数は174,899部。  
媒体力の裏付けとなる普及率は、全国の日刊紙の中で  
第2位となる約59%に達しています。  
広告効果がもっとも期待できる福井市の約61%をはじめ、  
県内すべての地域でトップシェアを誇っています。

※発行部数と世帯普及率は日本ABC協会調べ。



# 主要メディア

## <福井新聞本紙>

福井県内172,002部、世帯普及率57.42% ※

福井県内で圧倒的なシェアを誇り、県民へ高い到達率を持つ。  
シェアは全地方紙の中でトップ。※2021年7~12月日本ABC協会調べ



## <生活情報誌 月刊fu>

毎月第4火曜発行の月刊誌。A4判、中綴じ、オールカラー。  
福井を楽しむローカル・ライフマガジン。福井新聞と同部数を福井新聞購読世帯に折り込み配布。  
購読層は7割が女性で、うち40代~60代が約8割を占める。



## <パピリンビジョン>

福井駅前の300インチスクリーンを使用したデジタルサイネージ放送。  
ニュース・天気予報・観光案内などを20分1サイクルで、8時~22時の1日42サイクル放映。サイクル内にあるCM枠を活用可能。



啓発啓蒙・キャンペーン・大型イベント

①シンポジウム・セミナーの企画運営

大規模な被害となった福井豪雨10年を機に、日頃から具体的な避難行動を考えることを目的に、国、県、各市町、NHK福井放送局とも連携し、福井豪雨の記憶と教訓を伝えながら、児童や家族、地域の人たちの視点で、防災・減災の大切さを啓発するコンテスト。集まった作品は1冊の作品集にまとめ各学校などに提供するほか、紙面でも上位入賞作品を紹介。家族単位で災害への備えの重要性を啓発する取り組みです。国や県、各市町からなる「ふくい水防災を考える会」を組織し主催しています。このように、関係機関との枠組みづくりと連絡調整、企画・運営・実施までを担うことも可能です。

## 募集チラシ



## 紙面展開（優秀作品紹介）



## 表彰式の様子



## 優秀作品集



ターゲット：【わが家】県内の小学生とその家族／【わが町】県内の自治会や自主防災会  
コンテンツ：新聞本紙での入賞作品紹介、表彰式、入賞作品集の県内全小学校配布など  
期間：5月～12月（準備、作品募集、審査、表彰式等）  
料金目安：6,000,000円（税別）～※  
※紙面広報、審査会・表様式運営等一式を弊社で運営する場合の目安

日本で初めて確認された「複合災害」となった福井地震とその1か月後の豪雨について、発生から70年を機にいつ起こるかわからない災害への備え・減災意識の重要性を訴えた大型事業。当時の記録や当時を知る人々への取材で構成した特別特集紙面（別刷り特集号）の発刊や地域住民を対象にしたシンポジウムの開催など約半年以上にわたる長期事業として展開しました。長きにわたって地元の取材報道に携わってきた地域メディアだからこそできる肉厚な特集には大きな反響が寄せられました。国やNHKとも連携し、特定のテーマのもと多くの人や企業を巻き込んだ事業です。

## 特別版（別刷り特集）



## 紙面展開



本紙15段 採録紙面

## イベントの様子



医療機関・教授・医師とのネットワークを生かし、がんをはじめとする病気や様々な医療をテーマに市民公開講座を実施しています。県民の命や健康にかかわる重大なテーマについてわかりやすく最新の情報を提供します。

福井新聞社が主催となって、紙面を中心とした募集告知、受付管理、当日の運営など一連の業務を一括して請け負い実施することが可能です。

## 採録紙面



本紙15面 採録紙面

## 採録紙面



本紙社告

本紙告知



ターゲット：  
 コンテンツ：社告掲載、募集告知広告、イベント運営管理、採録記事制作掲載  
 期間：任意  
 料金目安：4,000,000円（税別）～

啓発啓蒙・キャンペーン・大型イベント

②大型イベント企画運営ディレクション

皇室が参加する総合開会式式典運営など、多くの関係者・スタッフ・ボランティアや各種事業者などとの連携、調整を必要とする事業も運営しています。インターハイ総合開会式は、全国規模の企業と地元メディアの共同企業体(JV)で取り組みました。実績豊富な企業と式典の円滑な運営を行うとともに、JV事務局として県内メディアをとりまとめ、情報発信など県民への機運醸成に寄与しました。

## JV実施体制

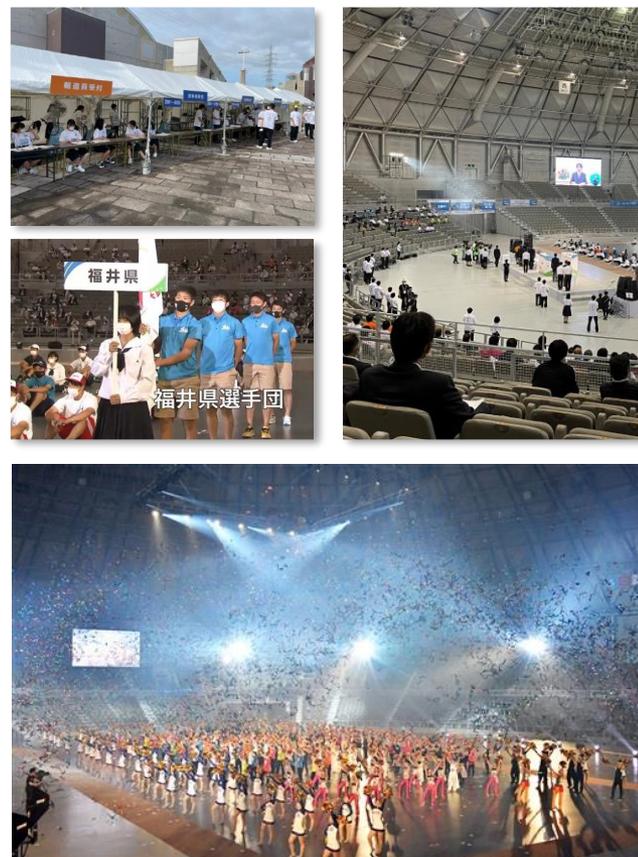
- 先施果実精
- 電通ライブ
- JTB福井支店
- 福井県本社企業
- 福井新聞社
- 福井放送
- 福井テレビ
- 福井エフエム放送



## 紙面展開



## 式典の様子



福井市の二大祭事のひとつである桜まつりにおいて、創客創流事業と広報事業を長年にわたって受託しています。メディアを活用した期間中の盛り上がりに加え、“圧倒的に美しい桜のまつり”をコンセプトにした桜の夜間景観創出を手掛けています。

新幹線開業を見据えた各自治体や観光団体との協業による観光コンテンツの磨き上げ並びに発信にも携わっています。

## 紙面展開



## イベントの様子



## 公式パンフレット



大型商業施設に隣接する福井新聞社本社を舞台に、子どもたちがさまざまな仕事の魅力を体験できるイベント。子どもたちの成長を応援する企業約20社が提供する、それぞれの企業に関連するおしごと体験ブースに1500人を超える子どもたちが訪れました。企画から運営管理まですべて福井新聞社が実施しています。

仕事の面白さや企業の魅力を楽しく理解し、自分の好きなことや夢を見つけてもらうことを目的としたイベントです。企業ブランディングや自社事業の理解促進に加え、人材育成という観点からも多くの企業さまにご協賛いただいています。

## 紙面展開



## イベントの様子



ターゲット: 県内児童(未就学児~小学生)  
コンテンツ: ブース出展、告知物への社名掲載(fuでのPR枠など)  
期間: 10月頃  
料金目安: 300,000円(税別)~

2020年からの小学校でのプログラミング教育必修化を受け、県内外の小中学生に対しプログラミングに親しんでもらう機会を提供することを目的に実施しています。課題解決の道筋を論理的に考える力や、発想力、創造力を身につけ、今後ますます必要とされるプログラミング人材の育成を図る、**福井の未来を担う子どもたちの健全な育成を目指す事業**です。申込者は年々増加し、近年は夏休みを利用して1泊2日でプログラミング学習を軸にした体験型学習として保護者の方からも評価いただいています。

## 紙面展開



本紙30段 採録紙面

## イベントの様子



ターゲット:小中学生  
コンテンツ:告知物への社名掲載、本紙記事下広告、イベント参加者へのPR物配布  
時期:7~8月にイベント実施、1か月後に採録掲載  
料金目安:1,000,000円(税別)~

2020年度に打ち上げられた、自治体としては初となる県民衛星「すいせん」を応援し盛り上げるため、2017年度～3か年実施した機運醸成プロジェクト。県内企業、未来を担う子どもたちや若者を巻き込みながら、様々な事業を展開しました。

## プロジェクトの一部



### スペースキッズ(2017～2019)

県内の小学5～6年生100人の組織を結成。宇宙をテーマに宇宙への関心、宇宙への挑戦の夢を持ってもらうことを目的に様々なプログラムを実施。



### スペースバルーン(2017)

福井高専生5名と、記者らでカメラを取り付けた風船を成層圏まで打ち上げ、宇宙や地球を撮影するプロジェクト。開発～制作、打ち上げまで生徒と協力して挑戦し、悪天候の中見事成功した。



### ふくい宇宙博(2017)

当時国際宇宙ステーションに滞在していた金井信茂宇宙飛行士とリアルタイムで交信。子ども向けに宇宙を感じる体験教室や企業ブース出展も同時開催し、多くの親子が来場した。



※機運醸成として上記以外に、高校生・大学生を巻き込んだ宇宙アイデアソンやどこでもプラネタリウム制作、宇宙絵画コンクールなども実施。**JAXAや福井県、NHK福井、県内企業と共に推進。**

啓発啓蒙・キャンペーン・大型イベント

③キャンペーン企画運営・コーディネート

従業員の健康に投資することは多方面で良い影響を及ぼすことから、県内企業の実践手法を紹介し健康経営の輪を広げ、**福井の経済活性化ならびに保険料率の低減につなげていくこと**を訴求するキャンペーンです。本紙での健康経営のススメシリーズ、健康経営に取り組む企業の取り組み紹介シリーズを展開します。

**協会けんぽ福井支部と福井新聞社、県内企業が一体となって取り組んでいます。**

## 紙面展開



協賛メニュー①

啓発紙面内の貴社ロゴ・取り組み紹介(本紙4回シリーズ)



協賛メニュー② 単独の記事体広告(半5段)



単独の記事体広告(1面3段)

ターゲット: 県内企業経営者ほか  
 コンテンツ: 新聞本紙での啓発シリーズでの社名掲載、自社の取り組み紹介半5段相当  
 期間: 任意  
 料金目安: 500,000円(税別)～

福井県の子宮頸がん予防・接種日本一を目指す啓発キャンペーン。県や医師との連携・協力のもと、県内女性の心と体の「キレイ」を応援することを目的として実施しています。子宮頸がん予防に対する機運を高め、定期検診の受診を促す本紙での連載や、女性特有の病気に関する正しい知識とヘルスケア情報などを女性向け情報誌「fu」にて特集しています。「子宮頸がんによって命を落とす女性を一人でも減らし、女性のキレイを応援する」という趣旨に多くの企業さまから協賛いただいています。

## 生活情報誌「fu」での啓蒙展開

## 福井新聞本紙での展開



■第2巻頭特集の記事下にて広告掲載(10P)

■キックオフ特集(30段)



■キレイ女子応援特集(15段)



■休日メンテ部シリーズ&キャンペーン啓発紙面(全5段 全16回)



ターゲット: 県内のすべての女性  
 コンテンツ: 本紙特集紙面でのPR、fu特集紙面でのPR、本紙記事下シリーズ啓蒙紙面での社名掲出(16回)  
 期間: 5月中旬~翌年3月上旬  
 料金目安: 400,000円(税別)~

持続可能な社会を実現するために地球規模の課題を一人一人が自分ごと(福井ごと)として捉えることが重要とされている中、今、何が起きている、どんな社会になっていくのか、持続可能(サステナブル)な福井県であるために、紙面やイベントを通じ訴求していきます。新聞紙面での特集のほか、脱炭素をテーマにした別刷り特集(16P)を発行。別刷り特集は県内小学校の教育現場でも活用され、特集内の広告を活用して授業を行った事例も報告されています。そのほかSDGsのテーマにあわせたシンポジウムを開催。立体的に全県下を巻き込んだ継続的な事業展開を計画しています。

## 公式サイト



## 福井新聞本紙での展開



## 授業風景



## 別刷り 16P



ターゲット: 全県民(特にこれからを担う小学生)  
 コンテンツ: 本紙特集でのPR枠、別刷り特集記事下広告、1面記事下広告、WEB掲出など  
 期間: 通期  
 料金目安: 500,000円(税別)~※  
 ※ご協賛枠によって料金は異なります。

高校生のキャリア教育、福井の労働力確保を目的に、**県内企業の仕事の魅力を分かりやすく紹介するガイドブック**を発行しています。**学校を通じて県内の高校1年生全員約7,000人に配布**するほか、就職活動する学生や希望する一般の方にも無料でお送りしています。

企業紹介だけでなく、キャリアの考え方やそれぞれのキャリアを歩んだ先輩たちのストーリーも特集として掲載。福井で働く将来をイメージしてもらうことで、「福井で働き暮らす」ことへの興味を喚起します。

新聞本紙でもシリーズ掲載したり、公式サイトを設けたりと、多面的に展開しています。

人材採用と地元福井の活性化の観点から多くの企業に掲載いただいています。

## 冊子

### 高校生のための ふくいお仕事図鑑



小冊子

県内の高校1年生全員に高校を通じて配布するほか、希望者にも無料で進呈

## 福井新聞本紙での展開



ターゲット：県内全高校1年生、就活生ほか

コンテンツ：冊子（12,000部発行）への企業情報掲出、新聞本紙でのPR、公式サイト掲出

期間：11月末冊子発刊・サイト公開、1月～新聞本紙でのPR

料金目安：450,000円（税別）～

長年にわたり福井で就職を考える学生と企業のマッチングを支援しています。新聞本紙や別刷り特集では学生とその親向けに企業・採用情報を届け、合同セミナーでは学生と企業が直接つながります。就職を決める際に相談する親世代と相性のいい、新聞媒体露出も多く、タブロイド発刊、セミナー、WEBを組み合わせて学生の就活・企業の採用を徹底的にサポートします。

## 紙面展開

## 公式サイト

本紙



## タブロイド

## 合同説明会



ターゲット:新卒就活生  
 コンテンツ:業界研究・就職セミナーブース出展、本紙・タブロイドでの採用情報告知、公式サイト掲出(募集要項、採用動画、先輩函鑑...)など  
 期間:通期  
 料金目安:200,000円(税別)~

ふくいの家づくり需要に応える総合メディアとして、**県内工務店の最新施工事例と家づくりにまつわる基礎知識を網羅した有料雑誌と施工事例中心の無料フォトブックを発売します。**福井で家づくりをされる方を少しでも応援するべく、協賛工務店で成約された方にはもちろんカタログギフトを進呈するほか、**施主さまの不安を取り除き工務店とのマッチングの場にもなるミニセミナーを実施。**LINEを活用した潜在層への情報発信も行います。

福井で家づくりを考える方、福井で家を建てる工務店双方を全力で支援する大型事業です。

## 雑誌イメージ



## 公式サイト



## イベント



## LINEによる配信



クーポンページイメージ

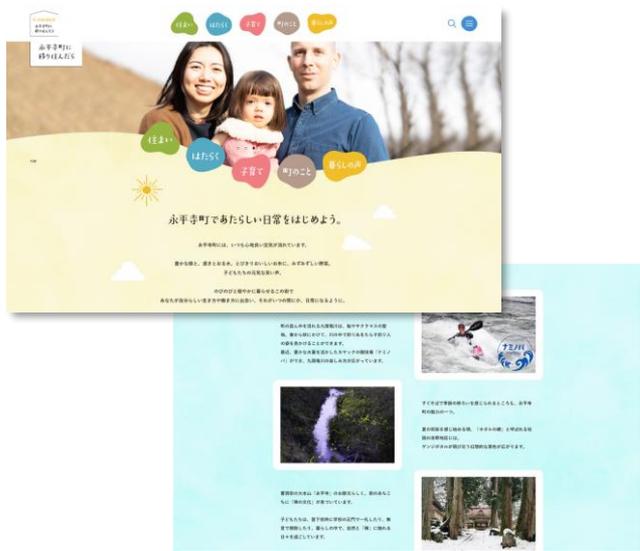
ターゲット: 県内の新築住宅購入検討者および潜在顧客 部数: 有料誌5,000部、無料誌12,000部  
 コンテンツ: 雑誌での施工事例掲載、公式サイト内に専用ページ提供、紙面・ふーばへのイベント情報転載、ミニセミナーへの出展、LINE登録者への情報発信 ほか  
 期間: 9月末雑誌発売、9月～翌8月まで公式サイト利用、新聞PR  
 料金目安: 400,000円(税別)～

各種制作・SP／PR支援

システム設計からページデザインまでワンストップで対応します。一般企業以外にも行政や公的機関の公式HPも手掛けています。

### 永平寺町移住ポータルサイト

移住定住促進を目的に町のポータルサイトを制作しました。サイトグランドデザイン、システム設計に加え、サイトの核コンテンツとなる移住者へのインタビューシリーズも手掛けました。



### 若狭湾観光連盟公式サイト

若狭湾観光連盟のサイト制作。ページデザインに加え、各種キャンペーン設計、SNS広告、レポート作成のほか、福井新聞記事と連携し、ニュースコンテンツを配信しています。



2021年6月より、「福井新聞動画スタジオ」を本社内に開設し、動画コンテンツの撮影やライブ配信に力を入れています。企業、団体などによるオンライン配信や動画制作をサポートする一方、動画投稿サイトYoutubeなどの動画プラットフォームへの生配信など自社による動画配信もさらに充実させ、地域の情報発信力を強化しています。

### リモートトリップコンテンツ

「360度動画」と「ドローン」を活用した、訪日外国人向けのリモートトリップ動画を3本制作。クールジャパンコンテンツでなじみ深い「ゲーム」「アニメ」を意識し、ゲームの導入部を作ることにより、より親しみやすく、興味を引く動画を制作しました。



### 番組制作

「福井新聞チャンネルLIVE DAY」と銘打ち、Youtubeの福井新聞チャンネルで動画特別番組を6時間にわたり制作、配信しました。お笑いや音楽、子育て応援、アウトドア情報インギなど幅広いテーマで、アウトドアショップ店長や子育て中の母親、地域おこし協力隊、らが出演し、それぞれ体験談やアイデア、福井の魅力などを自身の言葉で発信しています。



県内読者全世帯に配布するクーポン冊子を企画・制作しています。グルメ、温泉・スパ・レジャー、お買いもの、カーライフ、ビューティなど利用者の暮らしに寄り添ったクーポン内容です。

広告利用実績の例として「1か月で1,500枚以上の利用(グルメ)」「2か月目以降も、初月と変わらない程度利用がある(お買いもの)」「期間中で新規が330人以上来客しており、CPA(=新規顧客獲得単価)が非常によい(ビューティ)」など、販売促進ツールとして高い評価をいただいています。発行後も、利用促進告知として定期的な新聞本紙、月刊fuでの露出のほか、TVCMも放映しており、毎回高い反響をいただいています。

## クーポンイメージ



- ▽4ヶ月有効のクーポンを年3回発行(4月・8月・12月利用開始)
- ▽ヨコ180mm×タテ67mmの携帯サイズ
- ▽表面、裏面の両面が掲載スペース

## 紙面展開(告知)



月刊fu掲載誌面



新聞本紙にて毎月告知広告掲載

ターゲット: 全県民  
 コンテンツ: 小冊子  
 期間: 年間3回発行(利用期間: 4月1日～7月末、8月1日～11月末、12月1日～3月末、の3区分)  
 料金目安: 200,000円

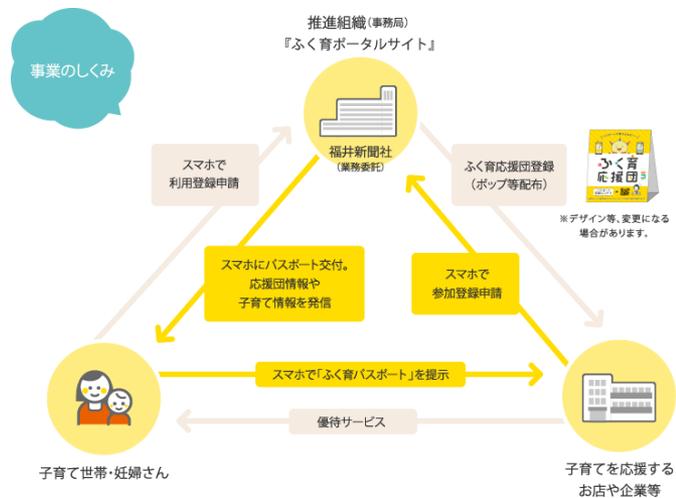
福井の持続可能性と幸福度に資する多彩な主催事業

2021年3月に福井県と子ども・子育て支援に関する連携協定を締結しました。同年10月より「ふく育ポータルサイト」を開設し、各種支援やイベント情報を発信しています。また、県内すべての子育て世帯を応援することを目的に「ふく育パスポート」事業を構築し、福井の多くの子育て世帯に「ふく育応援団」の優待サービスを提供しています。

## 「ふく育応援団」

2022年3月1日時点の事業所 1,500超

妊婦さんから18歳未満のお子さまを持つ子育て世帯の希望者に「ふく育パスポート」を発行し、子育て世帯がふく育パスポートを提示して優待サービスを受けられるお店や企業を「ふく育応援団」と呼称しています。



## 「ふく育パスポート」

2022年3月1日時点の会員 38,000人超

福井県内にお住まいの妊娠中の方、および18歳未満のお子さんがある希望世帯に、1世帯につき2枚(2アカウント)発行。登録することでスマートフォンやタブレットにパスポートが表示され、「ふく育応援団」のお得な優待サービスが受けられます。



福井のママにとって身近で子育ての不安を払しょくできるようなグループを目指し、に2016年秋に活動をスタート。  
「子育てをちょっと楽しく」をモットーに、年間のべ2500組の親子らが参加するイベントを開いています。  
イベント内容は0歳から参加できる音楽会や芸術鑑賞会、防災や新聞の読み方の講座、子育ての悩みや楽しみをテーマにしたおしゃべり会など。毎年福井新聞社本社で開くふくまむ祭は、毎回大勢の家族連れでにぎわいます。

## 紙面展開

## イベントの様子



毎週日曜掲載「はぐカフェ」子育て世帯のための紙面特集



ターゲット: 小さなお子様を持つ親  
タイアップ可能なコンテンツ: コラボイベントの実施、福井新聞紙面や情報誌fuでの紹介、イベントの場やInstagram (フォロワー2000人以上)でのチラシ配布や試供品の提供、フォロワーへのアンケート調査、ママたちとの意見交換会、おしゃべり会の実施 など  
料金目安: 応相談

福井県の学力向上を目的に福井県内の中学3年生を対象として、来春の高校入試を想定した「福井新聞模擬テスト」を8月、10月、12月の計3回実施しています。県立高入試の出題傾向を踏まえた設問で、自分の実力の確認や苦手教科の把握、克服などに役立つ内容です。志望校選びの目安となるように2017年度に始まり、県内一円から延べ約4,000人の中3生が挑んでいます。

また7月には、昨年度の福井新聞模擬テストや今春の県立高入試などを一冊にまとめた「福井県高校入試問題集 来春受験用」を発刊しています。県内の主要書店などでも販売しており、広告掲載も可能です。

## 福井新聞模擬テスト



受験者中の順位や志望校別の順位、志望校別の判定が一目でわかる成績判定システムを採用しています。福井県の高校入試に即した問題で、実践的な入試対策として活用できます。

## 福井県高校入試問題集



福井新聞模擬テスト、県学力診断テスト、直近の県立高校入試の問題と解答を網羅しています。福井県の高校入試傾向をつかむ効果的なテキストとして利用されています。

本体価格：2,200円

ターゲット：高校受験を控える受験生とその保護者（入試問題集）

コンテンツ：問題集への広告掲載（入試問題集）

期間：

料金目安：200,000円（税別）～

「プレイヤーが地域を活性化させる」をコンセプトに福井新聞社が出資し、2020年4月設立。「継続的」で「自走可能」なまちづくり活動の拡大、地域課題を解決する「社会起業家」を育成し、まちづくりのソフト事業を産業化することを目的に理事6名、従業員3名で活動しています。  
※2021年3月時点

地域活性化プロジェクトの企画・運営・コンサルティング、プレイヤー育成などを主な事業内容とし、これまで数々の事業を受託してきました。意欲あるプレイヤーに対して、事業実現のノウハウやマネタイズの手法等を助言し、事業継続へ導く「伴走型」の支援体制を構築し、社会起業家を育成しています。

## 商店街支援事業

福井市商店街連合会とEKIMAEMALLが共同で受託したGoTo商店街事業の運営業務を担当。「商店街はこだわりがすごい」をキーワードに、SNS発信、商店街をめぐるバスツアー、新聞やテレビの広報、冊子の制作などを請け負った。



## 「美めぐり」事務局



美めぐりふくいプロジェクトは「おとな女性のご褒美たび」をコンセプトに、嶺北中枢都市圏にある事業者や観光協会などが連携し、「上質」「ゆったり」としたおとな女性向けのコンテンツの紹介、企画を行っている。

## 「オンフク」事業

福井の様々なジャンルの非接触型サービスをまとめた福井県オフィシャルのポータルサイト「オンフク」の企画・運営を受託。2021年3月時点で350事業者が登録している。



小学校での教育必修化など、人材の必要性が認知されてきた“プログラミング”を軸に**将来のプログラマ人材育成とプロダクト開発を目的**として、2020年12月から開始した事業です。プログラミング教育のノウハウを持つソフトウェア開発会社＝ナチュラルスタイルと連携して実施しています。

福井駅前新聞社所有物件の一角を改装し、PCをはじめ3Dプリンタなどの機材をそろえ拠点として整備。学校や塾で学ぶこと以上を身につけたい・経験したいという小中学生5名が在籍し、放課後に集まって活動しています。メンターに相談しながら、プログラミングを用いて**地域課題を解決するプロダクト開発**に取り組んでいます。

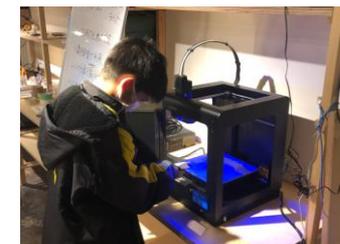
## 紙面展開



## 公式サイト、twitter



## 紙面展開



# ふくいお肉マルシェ

食の祭典「ふくいお肉マルシェ」はゴールデンウィークに福井市のハピテラスで開かれている。地元料理店が複数のブースを出店。地場の肉問屋から仕入れた牛や豚、鶏肉の厳選食材を使った、多彩な肉料理が勢ぞろいする。

ジューシーで肉厚のステーキ丼や、黒毛和牛を使ったすしなど、各店のオリジナルメニューを満喫できる。

県内の人気スイーツ店が、プリンやフルーツケーキなど自慢の逸品を提供するブースや、肉料理に合うアルコール飲料が楽しめるブースもある。

## イベントの様子



人生を豊かにするさまざまなヒントを福井の女性にお届けしようと、福井新聞社が企業サポーターとともに運営する会員制の集いです。2002年の誕生から20年、年4回のメインイベントとなる「ささらサロン」では、各界で活躍する著名人を招き、講演会やコンサートで優雅なひとときを過ごしていただいております。会員約1700名のみなさまに素敵なひと時をお贈りする事業です。

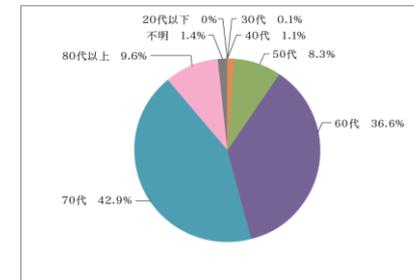
コロナ前には、四季折々の味・美に触れていただくこだわりの旅「ささらプラザ」などを提供しておりました。



2022年度「ささらサロン」のラインナップ

<p>第1回 安藤 優子</p>  <p>■開催日:4月9日(土)                  キャスター/ジャーナリスト                  1958年(昭和33年)生まれ。上智大学外国語学部比較化学科(現:国際教養学部)卒。2019年、グローバル社会学博士号取得。これまで、連日ニュース番組の生放送でキャスターとして取材、放送を手掛けてきた。2020年9月までフジテレビ系「直撃LIVE グッディ!」MCを務めた。</p>	<p>第3回 古市 憲寿</p>  <p>■開催日:10月8日(土)                  社会学者/作家                  1985(昭和60)年東京都生まれ。慶応義塾大学SFC研究所上席所員。コメンテーターとして多数テレビ出演中。若者の生態を的確に描出した「絶望の国の幸福な若者たち」で注目される。</p>
<p>第2回 錦織 健</p>  <p>■開催日:7月16日(土)                  オペラ歌手                  国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。ミラノ及びウィーンに留学。1986年のデビュー以降、数多くのオペラやコンサートに出演する他、オペラ・プロデュースも行う。NHK紅白歌合戦への出演やFMラジオのパーソナリティーを務めるなど幅広く活動。</p>	<p>第4回 小島 慶子</p>  <p>■開催日:12月3日(土)                  エッセイスト/東京大学大学院情報学環客員研究員                  1972年オーストラリア生まれ。幼少期は、日本のほか、シンガポールや香港で育つ。学習院大学法学部政治学科卒業後、1995年TBSに入社。第36回ギャラクシーDJパーソナリティー賞を受賞。2014年より、オーストラリアに教育移住。自身は日本に仕事のベースを置いて、日歐を行き来している。</p>

会員の年齢構成



ターゲット: 県内すべての女性  
 コンテンツ: サロンでのブース出展、会員向け案内物への社名掲出、新聞本紙5段またはふじPの広告枠  
 期間: 4月～通年  
 料金目安: 1,000,000円(税別)～ 企業サポーターとして

美術館をはじめとした県内文化施設と共催で様々な展覧会を実施しています。チケット販売から事前告知、設営などの当日運営、記事などによる広報など一体的に運営に携わっています。

## ミケランジェロ展 (県立美術館)



2013年6月28日～8月25日  
総来場者数:87,894人  
県立美術館の来場者数記録を更新

初期の大理石彫刻「階段の聖母」や、最も美しいとも評される素描「レダの頭部習作」など貴重な59点を鑑賞できる機会とあって、多くの来場者がありました。約5年前から海外コレクターと交渉するなど、多くの困難を乗り越えて開催にこぎつけました。

## 山下清展 (福井市立美術館)



2012年7月21日～9月9日  
総来場者数:52,646人  
福井市立美術館の最高来場者数記録

日本のゴッホ、放浪の天才画家と称された山下清の代表作「長岡の花火」(1950年)などの貼り絵をはじめ、遺品や資料など約190点を展示しました。講演会では山下清さんの甥・山下弘がエピソードなどを披露しています。

## 蛭川実花展 (金津創作の森)



2013年7月20日～9月29日  
総来場者数:36,816人  
金津創作の森の最高来場者数記録

写真家で映画監督の蛭川実花の個展で、蛭川さんが選んだ植物写真や著名人のポートレート、金魚の映像など約190点を展示。開幕から若者を中心に大勢の来場者があり、総入場者数は同館で過去最高を記録しました。

県内の文科系団体や流派の方々とともに、文化継承に資する様々な事業も展開しています。また、県民のみなさまが気軽に文化に親しむ場を提供するほか、様々な文化的コンテストも実施しています。

## 煎抹各流大茶会



茶道の県内13流派が一堂に会する「煎抹各流大茶会」は福井県茶道連盟和光会に加盟する各流派が、朱傘を立てて季節の草花をあしらうなど趣向を凝らした茶席を設けます。華やかな和服姿の女性らが落ち着いた所作で抹茶や煎茶をたて、和菓子と一緒に楽しんでもらう文化事業です。

## ちょっと素敵な音楽会



20数年にわたり毎月第3金曜日に、県内にゆかりのある音楽家たちの演奏会を福井新聞社・風の森ホールで行っています。クラシック、打楽器など幅広いジャンルの音色が楽しめ、県民のみなさまが気軽に音楽に親しめる場として好評を博しています。

## 写真グランプリ



過去25回にわたって実施。応募数は約330点と北陸では最大級を誇る写真公募展です。南越前町出身の写真家：土田ヒロミ氏が審査委員長を務め、一般から学生まで幅広く応募し写真愛好家のなかでは権威ある大会と称されています。

写真は令和3年度 最高賞知事賞

県内の子どもたちの健やかな成長を支える、教育的な事業も多数実施しています。数十年の歴史を誇るかきぞめ競書大会をはじめ、教育水準の向上を目的としたあらゆるジャンルでのコンクールも主催。作品の紙上掲載など、参加した子どもたちの意欲向上も図っています。

## 県かきぞめ競書大会



今年87回を数える県かきぞめ競書大会は県内の小中高、大学、一般から約6万点が集まる県内最大規模の書道展です。

一次審査通過者を対象に県内10数か所で行う席上揮毫に参加するため、児童たちは日頃より技術向上に努めるなど、権威ある大会となっています。

## 小中学生：科学アカデミー



小学4年～中学3年生を対象に学校を通じて理科研究作品を応募してもらうコンテスト。優れた理科の自由研究を対象に毎年2万点の応募があります。そのなかから上位約100名に各賞を与え社内ホールにて作品を展示しています。

## 版画コンクール



今年45回を数える。県内の小中高など230校から約4万点が寄せられる、こちらも県内で最大規模のコンクールです。最高賞の棟方賞など約100人超を表彰し、紙上はじめ新聞社の支社支局にて作品展示を行います。

県民の心身の健康維持を目的として、様々なスポーツイベントも実施しています。各競技に関わる人々にとって、日ごろの研鑽の発表の場となる各種大会も、参加者のみなさまにとって一年の目標となる大会に成長しています。

## 福井県アマゴルフ選手権大会



福井県のトップアマを決める、県内最大級のゴルフ大会。毎年多数のゴルフ自慢が参加し覇を競います。上位入賞者には全国都道府県対抗アマチュア選手権大会の出場権も与えられることから、多くの方がこの大会を目標に研鑽されています。

## 福井市民ソフトボール大会



今年68回目。4月～7月までS、A、B、C級の4階級でトーナメント、リーグ戦を行います。毎年100チームが出場する、県内最大規模のソフトボール大会。毎週末に福井市内各地のグラウンドで熱戦が繰り広げられます。

## 県内マラソン大会各種



県内の各市町で約20カ所でマラソン大会が行われていますが、それぞれに弊社が後援、協力または共催しています。多数が参加する菊花マラソン、敦賀マラソンなど、市民ランナーが健脚をふるう場として多くのみなさまにご参加いただいています。

全国各地で活躍しているアーティストを招いて音楽イベントを企画運営している。福井新聞社ならではのネットワークと情報力を活用し幅広いジャンルから招聘。世代を問わず人気の高いグループからソロで活躍中のアーティストを迎えることで県民読者から支持をえている。

## イベント実績（一部）



立川志の輔独演会  
2021年7月16日@アオッサ県民ホール  
約600人来場



劇団四季「ソング&ダンス65」  
2021年9月17日@フェニックス・プラザ  
約1600人来場



ポリショイサーカス  
2017年7月15～17日@サンドーム福井  
3日間で約12,000人来場

県外(広域)プロモーション

福井市への移住定住促進を目的として、**県外の移住検討層へ福井市の魅力をPR**しました。地方への関心が高くライフスタイルへの柔軟な発想を持つ20~40代を読者層とするディスカバージャパンと連携し、雑誌とwebを連動させ多角的なプロモーションを展開。雑誌では福井に移住し生業を生み出した先人を取材し、福井での暮らし方をリアルに紹介。移住者の生の声を拾った座談会と支援制度を紹介するウェブ記事は、約9割が県外ユーザーの福井新聞on-line内に格納し、福井市の移住サイトへ誘導しました。

移住関心層へターゲットングした広告運用で多くのサイト流入を実現しています。

## Web記事

## 雑誌、抜き刷り



ターゲット:県内外の移住検討層(主に首都圏)

コンテンツ:ご希望に応じます。

福井市の事例は、ディスカバージャパンでの特集12P、抜き刷り冊子制作、渋谷パルコのショップにて冊子配布、福井新聞on-line内へのLP掲載、web広告運用など

料金目安:応相談

北陸3県の新聞社の共同企画として1996年にスタート。新聞社と3県の行政が一体となって15年以上取り組んでいます。これまでは、その時代の社会情勢や北陸エリアのトピックに沿ったテーマを設定し、様々な事業展開・紙面特集を実施。直近では北陸新幹線の福井・敦賀延伸に向けて、北陸の魅力を再発見し、県内外に発信するとともに北陸エリアのポテンシャルをさらに磨き、発展のためのアクション、北陸への来訪者増加に繋げています。

事業展開としては、大学生向けのWSの開催、北陸の魅力体験ツアー、フォーラムの実施など。それぞれの県で実施し、事業後に採録紙面として北陸3県の新聞に同一内容を同時掲載しています。

## 紙面展開



## 事業紹介（一部）



様々なテーマで識者を招くフォーラム実施



北陸の魅力発信担い手インタビュー

ターゲット:北陸三県民  
コンテンツ:紙面特集下広告(北國新聞、北日本新聞、福井新聞共通掲載)  
期間:  
料金目安:お問い合わせください

地方新聞社間のネットワークを生かし、**交換広告や共同企画などを実施**しています。  
 石川県の北國新聞とは福井・石川にある、お互いの県のおでかけスポットを紹介する「レジャー特集」、岐阜新聞とは大河ドラマ「麒麟がくる」のコラボ企画として岐阜県と福井県からそれぞれ広告を出稿し、編集記事と広告とともに同じ内容を掲載するコラボ企画などを実施しました。

## 紙面展開(一例)



北岐阜新聞 共同企画(福井新聞掲載ver)



北國新聞 交換広告(福井新聞掲載ver)

ターゲット: 全国や特定の県を選ぶことができます  
 コンテンツ: 特定の地方紙への広告出稿  
 期間: 応相談  
 料金目安: お問い合わせ下さい

首都圏周辺の商業施設とタイアップし、定期的にくふいの食材や商品を紹介する物産展「福井フェア」を開催している。その一つとして、「マルイとフクイ(丸井と福井)」というブランディングで商業施設OIOI(丸井)とプロモーション展開しており、「共創サステナビリティ」「ソーシャルグッド」のポリシーに共鳴した丸井と福井新聞がタッグを組んで物産展を開催。



ターゲット: 全国や特定の県を選ぶことができます  
コンテンツ: 特定の地方紙への広告出稿  
期間: 応相談  
料金目安: お問い合わせ下さい

PR専門会社と連携し、県外へのマルチなプロモーション展開が可能です。例えば、民放テレビキー局に強い総合PR代理店と組み、事業展開し、首都圏メディアに対して福井県への取材誘致を行っています。首都圏メディアがいま欲しい情報を地元メディアが最適に橋渡しすることで広告換算費においても高いPR効果を生み出します。

その他、ニーズやターゲットにあわせて全国や県外エリアに絞って様々なプロモーション展開しています。



ターゲット: 全国  
コンテンツ: テレビ番組へのパブリシティ、全国メディアへのパブリシティ など  
期間: 応相談  
料金目安: お問い合わせ下さい